

学校評価結果について

広陽小学校
令和4年2月吉日



向春の候、保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。さて、学校では、この大切な子供たち一人一人が成長していけるよりよい学校にするために、児童アンケート、保護者アンケート、教員アンケートを基に学校評価を行っています。後期の結果と改善策、保護者・学校関係者評価委員の皆様からいただいたご意見をお知らせいたします。

○アンケート結果より

	重点取組	指標・評価観点	評価方法	評価結果	分析と改善策
				後期	
学校経営	子どもたちは学校で楽しく過ごしている。	・安心して学ぶことができる居場所づくりをしている。 ・安心して学んでいる。	教職員アンケート 児童アンケート 保護者アンケート	89.3%B 86.4%B 88.2%B	質問「嬉しい時・楽しい時はどんなときですか」に対し「音楽(リコーダー)で教え合いをして、ひけるようになった時」「理科の予想がズバリ当たった時」「自分の苦手を得意にして、得意を伸ばすことができた時」等の回答が見られました。 学校生活の大部分を占める授業をさらに充実させ、楽しい授業を目指します。教師の出場を少なくし、児童の言葉で多くを語らせ「楽しい」と実感できる授業を実践していきます。 また、コロナ禍ではありますが、6年生を送る会やたてわり活動など、児童主体となる活動を充実させ、発達段階に合わせた関わり方をさせながら指導を行っていきます。
学習(主体的に取り組む子)	・ねらい(育みたい資質・能力)を明確にした授業を行っている。	・ねらいに合わせた児童の具体的な姿を設定している。 ・児童が学びや変容を自覚できるように、まとめや振り返りを書く場を設定したり、活用問題の場を設定したりしている。	教職員アンケート 児童アンケート 保護者アンケート	87.5%B 86.9%B 85.1%B	まとめを自分の力で書くことはおおむねできるようになってきましたが、まとめを書くことに時間がかかり、活用問題まで十分に時間を確保できないことがありました。 今後は、児童が根拠や理由を明確にして説明できるようにするために、以下4点について取り組んでいきます。 ①教師が話型を活用したり、教師が話し方の手本を示したりしていきます。 ②教師も児童もキャッチボール言葉を活用することで、根拠や理由を話すことを意識させていきます。 ③ペアやグループ・全体交流の場で、教師が教科書やノートを指し示しながら話すよう指導し、できたときに評価することで全体に広めていきます。 ④個別に声掛けをしていくことで、自信をつけさせていきます。
	・根拠を明確にして説明ができる。	・ペア・グループ活動中及び全体交流の場で、根拠を明確にして説明している。	教職員アンケート 児童アンケート	79.2%C 68.7%D	
生徒指導(思いやりを形で表す子)	・「おすし掃除」をする。 ※「おすし」おわりまで、すみずみきれいに、しゃべらずに	・必要のないことは話さずに掃除をしている。 ・自分からすみずみまで汚い所を見つけて掃除している。 ・落ちているゴミを拾っている。	教職員アンケート 児童アンケート	80%B 88%B	全体的にはそうじに前向きに取り組む児童が多いと思われます。「お」…どのグループも終わりのチャイムまでしっかり掃除の様子が見られます。 「す」…教室など平な掃除場所はおおむねできています。階段など段差がある場所、体育館など広い場所でもしっかり取ることができればさらに良いです。 「し」…始まりや終わりの時間帯で話し声が聞こえてきます。担当者が見ていないと掃除できない児童が低学年に多いように感じます。 上記の様子から「おすし」掃除を3学期に向けてレベルアップしていきます。※「おすし」から「しんせんなおすし」へ。 「しん」…しんけんに 「せん」…せんせいがいなくても 「な」…なかまといっしょに
	・子どもたちは、いじめられたり無視されることなく、安心して過ごしている。	・子どもとの関係づくりに努めている。 ・学年、チームで連携していじめ問題の解決を図っている。	教職員アンケート 児童アンケート 保護者アンケート	85.7%B 85.4%B 90.9%A	保護者のポイントが上昇した要因は、2学期は運動会や参観等で保護者が学校の様子を自らの目で見て感じる事ができ、安心できたことが大きいのではないかと考えます。 前期同様、生徒指導が進めている実践の ①たてわりクラブ・委員会の教師による普段での声掛け ②〇〇カード ③今日のナイスさん 等の取組がいじめ予防の観点からどのような意味があるのか共通理解を図り、取り組んだ後は、振り返りを行い、全体にフィードバックさせていきます。 特に、①の声掛けを進めていくことで自己存在感を高め、それをもとにした生徒指導の三機能を図っていきます。
・目標に向かってのびのび運動する。	・体育の時間に全力で取り組めるように目標を提示している。 ・目標に向かって一生懸命体を動かしている。	教職員アンケート 児童アンケート	88.9%B 88.4%B	後期では持久走など目標の出しやすい体育の活動が多く、教師も児童も目標を数字として意識しやすかったと考えます。また、3年生が初めて取り組んだ秋の体力検証では、春から平均記録が張り出されているため、4～6年生も意識しやすくなっていました。さらに、様々な学級が意欲的に取り組んでいるスポチャレいしかわも目標を意識して体を動かせる一因となったと考えられます。 今後も体育の授業の工夫や声掛けなど、意欲が持続していくような工夫を行っていきます。	
・各種便りやホームページなどを通じて、保護者への情報発信に努める。	・各種たより(学校便り・学年便り・保健便り・図書館便り・給食便り)を月1回出している。 ・学年便りに写真を掲載している。 ・ホームページは月1回更新している。	教職員アンケート 児童アンケート	87.5%C 82.9%B	前期と比較すると教職員・保護者ともに向上しました。各学年が学年便りやホームページの更新の充実を意識し、発信した成果が出たといえます。今後も、保護者に学校の様子が伝わるよう情報発信に努めていきたいと考えます。	

○保護者(自由記述)より

- ・欠席等の連絡方法は、朝の健康観察での入力送信すれば欠席カードの提出は無くてもよいですか？
- 毎朝Teamsによる健康観察にご協力いただきありがとうございます。健康観察に入力いただいたご家庭は、欠席カードの提出や電話でのご連絡は必要ありません。朝のお忙しい時間になりますが、どうぞよろしくお願致します。
- ・荷物が多いので、宿題以外の教科書などは学校に置いておいても良いことになってほしいです。
- 2018年9月文科省より、宿題に使わない教科書を学校に置いて帰る「置き勉」を認める通達がありました。本校においても、学年・クラスの実態を考慮し、一部の教科で「置き勉」を実施しております。また、GIGA推進によるパソコンの持ち帰りも今後さらに増えることが予想されます。今後も「置き勉」と併せ、特定の日に持ち物が偏らないよう、数日に分けて持ってくるなど工夫をしていきたいと考えます。

○学校関係者評価委員会より

- ・「おすし掃除」の取組は分かりやすいです。高学年を主とし、声を掛け合って掃除をすることも大切だと思っています。「しんせん」はよいポイントだと思います。
- ・先日のオンライン授業において、子供の隣で授業の様子を拝見させて頂きましたが、先生方の熱い授業に感謝の気持ちでいっぱいです。

学校評価結果について

広陽小学校
令和4年2月吉日

向春の候、保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。さて、学校では、この大切な子供たち一人一人が成長していけるよりよい学校にするために、児童アンケート、保護者アンケート、教員アンケートを基に学校評価を行っています。後期の結果と改善策、保護者・学校関係者評価委員の皆様からいただいたご意見をお知らせいたします。



- ・ あいさつ運動で来校した際、子供達の元気な声を聞くことができ、嬉しかったです。私自身も子供達のよい手本となるように心掛けていきます。